



狀

況

報

告

第  
百  
十  
四  
師  
團

0357

師團ノ行動並配備ノ概要

一 師團ハ昨年十月十二日動員ヲ令  
セラレ二十一日之ヲ完結スルマ直  
ニ其衛戍地ヨリ出發シ大阪ニ集合ノ  
上十月三十日頃同地出帆五島列  
島ヲ經テ十一月五日杭州灣ニ到リ

0358

海上ニ待機スルコト約五日、後十日漸ク金山衛城附近ニ上陸セリ  
爾後新倉鎮附近ニ於テ敵ノ堅土陣ヲ拔キ楓涇鎮、嘉興、平望鎮ヲ經テ湖州城ニ近迫シ國崎支隊ト協カシテ之ヲ攻略セリ爾來師團、軍

0359

ノ先頭ニ在リテ前進シ先ツ密水橋  
ノ敵陣ヲ突破シテ夜間急追ヲ敢行  
シ敵ノ虚ヲ衝キテ長興ヲ陥レ更ニ北  
進シテ夾浦鎮北方ノ敵ノ堅砦ヲ屠  
リテ宜興、溧陽、溧水ノ諸城ヲ拔ケ  
リ、越テ秣陵關及將軍山附近ノ

0360

敵ノ堅陣ヲ撃碎シテ長驅南京  
城ニ迫リ力攻數日ノ後十二月十二  
日午後一時頃遂ニ雨花門附近南  
京城頭高ク日章旗ヲ翻スノ光榮ト  
感激ニ浴スルヲ得タリ

師團ニ命令ニ依リ反轉東南進シテ

0361

十二月二十九日湖州ニ到リ同地附近  
敬言備、任ニ服シアリシカ大命ニ依リニ  
月十二日同地出發上海、大連、北京ヲ  
經テ二月末頃保定ニ到著シ同地  
附近ノ敬言備ニ任セリ  
二月末頃以來概シテ永定河、白河

0362

ノ線以南阜平、新樂、德縣、大口河ノ  
線以北ニ於ケル中部河北省ノ防衛  
特ニ京漢、津浦ノ兩鐵道ノ警備ニ任  
シアリシ當師團ハ三月十二日歩兵約  
三大隊ヲ基幹トスル部隊ヲ速ニ齊  
南ニ派遣シ第二軍司令官ノ指揮下

0363



ニ入ラシムヘキ方面軍命令ヲ受領スル  
ヤ道ニツカ實施ニ着テ山田中佐  
ノ指揮スル歩兵三大隊、野砲一中隊  
ヲシテ十四日出發鐵道ニ依リ濟南  
ニ到リ軍司令官ノ指揮下ニ入ラシメタ  
リ

0364

次テ四月六日右部隊ト併セテ混成  
一旅團トナリ得ル如ク更ニ所要ノ  
兵カヲ濟南ニ派遣シ第二軍司令部ノ  
指揮下ニ入ラシムヘキ方面軍命令ヲ  
受領シ即時秋山少將ノ指揮スル  
歩兵約三大隊ヲ増派スルノ部署ヲ

0365

爲セリ

同少將ハ歩兵一中隊ヲ從ヘ先ツ濟南  
ニ先行シ軍命令ニ基キ先ツ山田部  
隊ヲ兗州附近ニ急派シテ第十師團  
部隊ト交代ノ上濟寧、兗州大汶口  
附近ノ警備ニ任セシムルト共ニ逐次

0366

到着スル部隊ヲ兗州以南ニ配置シ  
第十師團ノ部隊ト交代ノ上臨城、滕  
縣及鄒縣附近ノ警備ニ當ラシムルト  
共ニ歩兵約一大隊ヲ膠濟線ニ派遣シ  
テ第五師團長ノ指揮ニ屬シ張店  
附近ノ警備ニ任セシメタリ

0367

越エテ四月八日師團ハ河北ニ於ケル其  
防衛區域ニ最小限ノ兵力ヲ殘置シ  
主力ヲ擧ケテ濟南ニ到リ第二軍司  
令官ノ指揮ニ入ルヘキ方面軍命令シ  
受領シ四月十二日ヨリ行動ヲ開始  
シテ逐次新任務ニ向ヘリ

0368

師團長ハ四月十二日午後齊南ニ先  
行シ其隸下ニ復歸セル秋山旅團ヲ  
併セ指揮シテ濟寧、嘉祥、汶上ノ  
確保及作戰地域内ニ於ケル津浦線  
ノ敬備ニ任スヘキ第二軍命令ヲ受領  
シ直ニ所要ノ部署ヲ爲セリ此間軍命

0369

令ニ基キ千葉大佐ノ指揮スル歩兵  
約三大隊、野砲一大隊（一中隊欠）ヲ  
束束莊ニ急派シ第十師團ノ指揮ニ  
入ラシメタリ

師團ハ其擔任區域ノ警備ニ關スル  
軍命令ニ基キ四月十四日頃逐次濟

0370

南ニ到着セル師團主力ト既ニ第十  
師團ノ部隊ト交代中ナル秋山旅  
團トノ現況茲敵情ヲ較量ノ上其  
擔任區域ヲ南、西、北ノ三地區ニ區分  
シ夫々之ニ左記兵力ヲ配置シテ警備  
ヲ擔任セシメタリ

0371



南地區

奧旅團長ノ指揮スル歩一聯隊（一大隊  
欠）及野砲一大隊（中欠）ヲ基幹トス  
ル部隊

西地區

秋山旅團長ノ指揮スル歩兵一聯隊

0372

(二大隊欠) 野砲聯隊(二大隊(一申欠)欠)

騎兵大隊ヲ基幹トスル部隊

北地區

歩兵一聯隊(混成ニシテ後備歩兵大隊

ヲ含ム)ヲ基幹トスル部隊

師團直轄部隊

0373

步兵約一大隊及野砲一中隊、工兵聯  
隊主力ヲ基幹トスル部隊

爾後軍第一線兵團ニ於ケル戦況  
ノ推移ニ應シ步兵一大隊、砲兵一中  
隊ヲ以蘭陵鎮ニ急派シ又軍ノ徐州  
攻撃手ノ爲ノ任務達成ノ一端ヲ命令

0374

セラレタルト此間曩ニ増加配属シ  
受ケシ獨立歩兵第十四、第十五大  
隊（兩大隊共ニ中隊欠）及河北省  
殘置部隊ノ原所屬ニ復セシメラレ  
タル爲逐次配備ニ少修正ヲ加ヘ別  
紙ノ要圖ノ如キ現配備ヲ採ルニ至レ

0375

リ

敵情

地區内ノ敵ハ微山湖ヲ渡湖シ來リ  
シ曹福林第二十九師ノ主力及第  
二十師ノ一部ト北方肥城附近ニ進  
出シアリシ展書堂ノ第八十一師半

0376

部ニシテ當初鄒縣以南鐵道東西  
ノ地區ニアリシカ四月二十七八日敵ノ  
後方連絡線タル夏鎮南陽鎮ヲ  
失ヒテヨリ以來遂次東方ニ遁走目  
下其主力ハ泗水北方地區ニアリテ汶  
上東北方第八十一師ノ部隊ト合流

0377

セント企圖シツ、アルモ我連日ノ討伐ノ  
爲大打撃ヲ被リ兵力半減セルカ  
如シ

又濟寧、嘉祥附近ノ敵情ハ概不別  
紙要圖ノ如シ

然レ共此討伐ノ爲我軍ニ於テ多

0378

少ノ犠牲者ヲ出スニ至レリ討伐ノ  
成果次ノ如シ

鐵道及通信ノ被害

一移駐當初ハ警備兵力ニ餘裕ナク  
敵ニ對スル討伐意ノ如クナラサリシ  
爲殆ト連日鐵道通信線ヲ破壊

0379



セラレ而モ其程度相當大ナリシ爲  
鐵道輸送並通信連絡上至大ノ困  
難ヲ感セシモ警備兵力ノ到着ニ伴ヒ  
大規模ニ討伐セル結果逐次破壊  
ノ回數減少スルト共ニ被害ノ程度モ  
亦漸ノ輕微トナリ目下殆ト被

0380

害ナキニ至レルモ尚敬言戒ヲ要スル  
モノアリ

0381

第二軍方面未松部隊討伐成果概見表

計	南	西	北	地區	
				回数	交戦
27	15	9	3	交戦	回数
22,200	19,000	2,000	1,200	交戦セル	敵ノ兵カ
3,450	2,700	450	300	敵ニ與ヘ	タル損害
10	5	5	ナシ	戦死	我カ損害
27	23	4	ナシ	傷	
<p>期間ハ師團カ第二軍ニ到 着(四月十七日)ヨリ五月一日迄 ノ間トス</p>				<p>摘要</p>	

0382

# 戦時死者者戦傷者調査表

合計	戦傷者	戦時死者	区分	
			下	内
(88) 一四一一	(46) 九八〇	(40) 四三二	町集團 隷下中	評
(20) 一一五	(15) 一一五	(5) 七〇	寺内兵團 隷下中	
(10) 一七二	(4) 一一四	(6) 四八	第二軍	
(118) 一八〇八	(65) 一一五九	(51) 五四九	計	

備考 ( ) 内ハ准尉以上ヲ示ス 合計中ニ含ミアリ

1140  
12. 11. 10  
4. 14  
13

0383